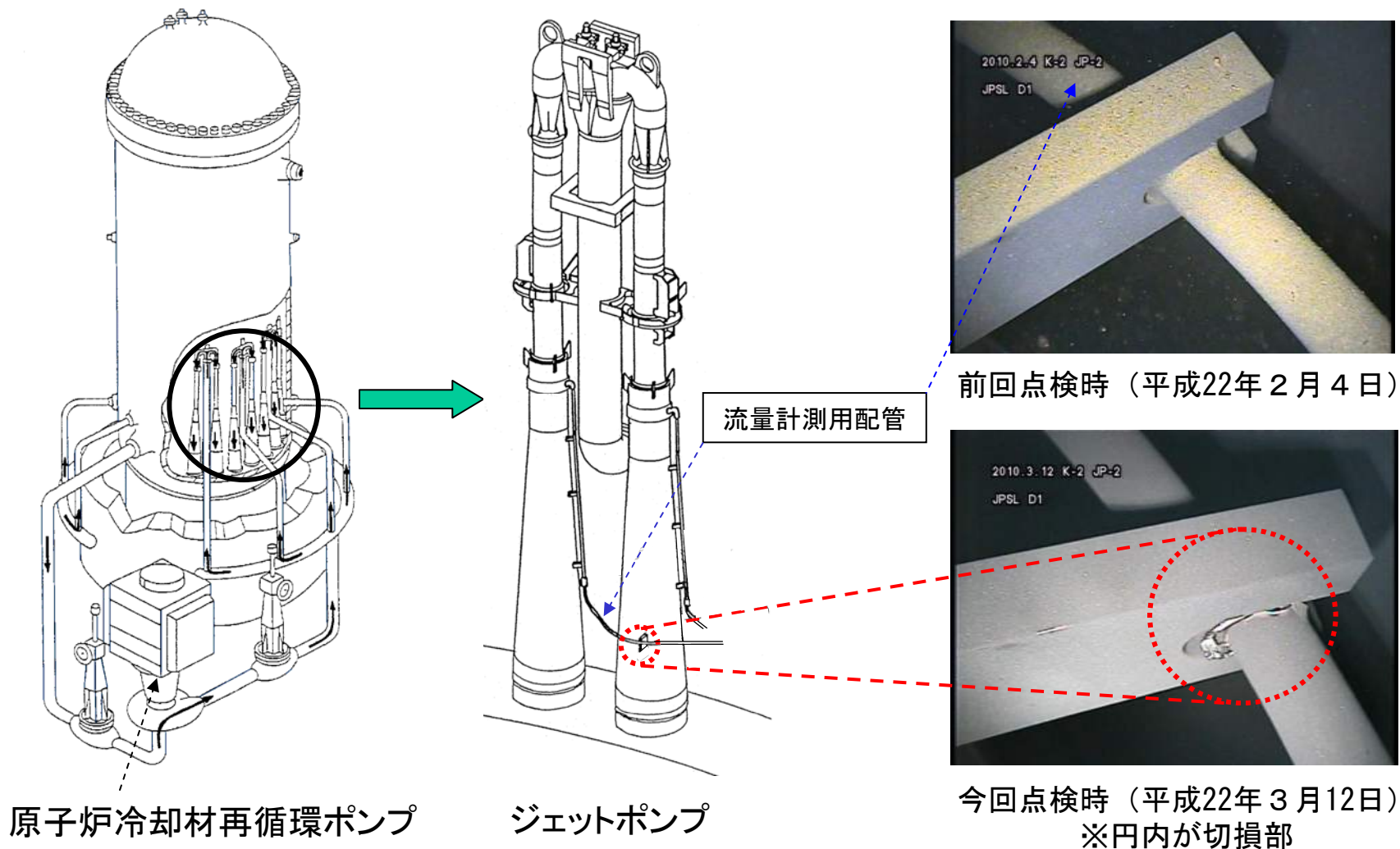


区分：Ⅲ

号機	2号機	
件名	ジェットポンプ流量計測用配管の切損について	
不適合の概要	<p>平成 22 年 3 月 12 日午前 1 時 40 分頃、定期検査中の 2 号機において、炉心シュラウド*¹ 予防保全対策工事*² 施工後に水中カメラによる目視点検を実施していたところ、20 台あるジェットポンプ*³ のうち 1 台について、流量計測用配管*⁴ (外径約 14mm、肉厚約 2 mm) の 1 本が切損していることを確認しました。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>なお、当該切損箇所を含めた全ての流量計測用配管について、水中カメラによる目視点検を行っており、当該配管以外の切損は確認されておりません。</p> <p>また、当該切損箇所については、平成 19 年 11 月に実施した新潟県中越沖地震後の点検、平成 22 年 2 月に行った炉心シュラウド予防保全対策工事施工前の点検で、異常がないことを確認しており、新潟県中越沖地震により切損したものでありません。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> <p>* 1 炉心シュラウド 原子炉圧力容器内に燃料集合体（炉心）を囲むように設置されている円筒状の構造物で、原子炉内の冷却水の流れを分離する仕切り板の役割を持つ。</p> <p>* 2 予防保全対策工事 炉心シュラウドの溶接部周辺のひずみに対し、高圧水を水中でノズルから噴射（ウォーター・ジェット・ピーニング工法）して圧力を加え、残留応力を改善する工事。</p> <p>* 3 ジェットポンプ 原子炉冷却材再循環ポンプにより加圧された水を利用し、原子炉内の冷却水を循環させる回転部を持たない静止型のポンプ。</p> <p>* 4 流量計測用配管 ジェットポンプに発生する圧力を測定することによりジェットポンプ流量を計測するための配管。当該配管は、各ジェットポンプにそれぞれ 1 本ずつ設置されている。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / ○ その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、シュラウドの予防保全対策工事との関連も含め、原因の調査を行うとともに当該箇所の補修を行う予定です。</p>	



2号機 原子炉冷却材再循環系 概略図